

2021 ドリーム Sunday レース & グロムワンメイクレース

車両規則

1、基本仕様(参加車両の最低限ルール)

① 外装部品

ウインカー、ミラー、テールライト、スタンド、タンデムステップは取外すこと。
エンジンのキルスイッチを必ず設けること(ハンドルクリップを握ったまま操作ができること)

② タイヤ

タイヤはスリックタイヤの使用を禁止する
タイヤへの追加工、使用制限を越えているタイヤの使用は禁止する

③ ボディーワーク

追突や接触時の危険を避ける為、車両の一部がリヤタイヤの最後端より後に出ないこと。
ハンドルを左右いっぱいについた時、タンクやカウル等と指をはさまないこと。
フルカウル車両のフロントフェンダー取り外しは出来るが、フルカウル非装着車両の場合は、フロントフェンダーは必ず付けること。

④ 突起物

車両にライダー等を傷つける恐れのある突起物(尖ったレバー、破損して鋭利になった部分)がないこと。

⑤ チェーンガード&スプロケットガード

全車にチェーンガード&スプロケットガード(フロント及びリア)を装着のこと。

⑥ ゼッケン

フロントゼッケン・サイドゼッケンは3面に出来るだけ大きく見やすく標示すること。
ゼッケン色・ゼッケンベース色の指定は有りませんが、読み取りやすい色にすること。

⑦ オイルキャッチタンク

オイルキャッチタンクを必ず装着し、転倒時に容易に外れたりしないよう固定すること。

⑧ ガソリンキャッチタンク

ブリーザー付燃料タンク及びキャブレターには必ず装着し、スタート前にはキャッチタンクの中を空にしておくこと。

⑨ オイルドレンボルト・オイルフィルターキャップ

それぞれワイヤーロックすること。又、フィルターキャップをブリーザーチューブ等に装着するために変更している場合は、ホース等が容易に外れないように固定すること。

⑩ 加工・変更可能な部品

オイルポンプ・クラッチ・スプロケット・チェーン・ブレーキ関係・ハンドル・キャブレター&インジェクションのセッティングパーツ・ステップ・電装パーツ類(CDI・プラグ・プラグコード・発電装置・バッテリー・計器類)

⑪ その他

タイヤウォーマーは使用禁止。

2、SP クラス(2st-SP85 以下)車両規定

① エンジンパーツ関係の加工・交換はできない。

※エンジンパーツ関係とは、ヘッド・シリンダー・クランク・クランクシャフト

② マフラー・チャンバー・サイレンサーの加工・交換可

③ 排気量のアップはできない(85cc 以下)

④ ミッション・エアークリーナーBox・リアサスの交換可。

⑤ フロントサスペンションのオイル並び突き出し量の変更、車高調整するためのカラーを追加することができる。

⑥ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること。

3、ST125 クラス車両規定

- ② 車両は 2st 85cc・4st125cc以下のミニバイクとする
- ③ エンジンパーツ関係の加工、交換はできない。(同メーカー、同形式の純正パーツの流用可)
- ④ マフラー・サイレンサーの加工・交換可
- ⑤ キャブレターボディの加工・交換はできない。(ニードル・ジェット等セッティングパーツの交換可)
- ⑥ エアクリーナーBOXの取り外し不可(エアエレメントの取り外し・BOXの隔壁の加工可)
- ⑦ インマニインシュレーター取り外し・加工可
- ⑧ 排気量は 100cc 以下、KSR110 はノーマルの 111cc 以下であること。
- ⑨ フロントサスペンションのオイル並び突き出し量の変更は可、スプリングの変更はできないが、カラーの挿入は可。リアサスペンションの変更・加工不可

4、SP クラス(4st-SP125)車両規定

- ① エンジンパーツ関係の加工・交換はできない。(同メーカー、同形式の純正パーツの流用可)
- ※エンジンパーツ関係とは、ヘッド・カムシャフト・シリンダー・ピストン・クランク・クランクシャフト・クランクケースをいう
- ② キャブレター・マフラーサイレンサーの加工・交換可
 - ③ 排気量は 125cc 以下とする
 - ④ オイルクーラーの取り付け可(取り付けの為のオイルポンプ&カバー交換、オイル通路加工可)但しシリンダー交換タイプは不可
 - ⑤ ミッション・エアークリーナーBOXのリアサスペンションの交換可
 - ⑦ フロントサスペンションのオイル・スプリング並び突き出し量の変更、車高調整するためのカラーを追加することができる
 - ⑧ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること。

5、NSF100 HRC トロフィー車両規定

- ① 使用車両は、(株)ホンダ・レーシング(HRC)より販売される NSF100 市販モデルのみとする。
 - ② マシンはノーマル状態を基本とし、改造、変更を不可とする。(エンジン排気量は 100cc 未満)
- 詳しい変更点、改造については NSF100 HRC トロフィー車両規定をご参考ください。

6、GROM CUP・耐久 GROM 車両規定

詳しい変更点、改造については HRC GROM CUP 技術規則をご参考ください。

6、GROM ワンメイク耐久車両規定

- ① 外装部品
 - ・アクセルは手で握っていないときは、自動的に閉じるようになっていること。
 - ・フロントフェンダーは必ずつけること。
 - ・転倒時に車両のダメージを最小限に抑えるため、フロントにプロティブ・コーンの取り付け可。
 - ・上部と下部のフォーククランプ(三又、フォーク、ブリッジ)は、純正パーツで維持されていること。
 - ・サイレンサーの後端は、リアタイヤ後端の垂直線より後ろにならないこと。
 - ・リアフェンダー変更は認めない。(ただし、部品の干渉等を避けるための加工は可)
- ② サスペンション
 - ・フロント並びにリアのスプリングの変更は可能
 - ・フロントフォークアウターとインナーチューブは純正部品であること(カラー変更やインナーコーティングは可)
 - ・リアサスペンションダンパーは変更不可
 - ・ダストシールの改造、変更、取り外しを行うことができる。

③ブレーキ

- ・前後ブレーキパッドとホースの変更可。
- ・フロントとリアブレーキキャリパー(リアのリザーバタンクは変更可)及びマスターシリンダーは純正パーツであること。
(プロテクター等のガードの釣り使いは可)

④タイヤ、ホイール

- ・タイヤはスリックタイヤ及びレーシングレインタイヤの使用を禁止する。
- ・タイヤウォーマー使用を禁止とする。
- ・予選及び決勝を通じて1セットのみ使用。
- ・オイルシールの取り外し、ベアリングおよびディスタンスカラーの変更は禁止とする。

⑤ チェーンガード&スプロケットガード

- ・リアスプロケットガードの板厚は最低2mm以上でシャープエッジでないこと。

⑥ オイルキャッチタンク

- ・市販車(クローズブリーザーシステム)からのオイルブリーザーライン変更は禁止される。
(オイルキャッチタンクを装着は免除される)

⑦ ガソリンキャッチタンク

- ・燃料タンクブリーザーパイプには、適切な材質でできた最低容量250ccのキャッチタンクを取り付け、漏れた燃料はキャッチタンクに放出されるように変更する。

⑧ 加工・変更可能な部品

- ・ワイヤーハーネス(スイッチ類を含む)はHRC及びホンダ純正部品でなければならない。

⑨ エンジン

- ・エンジン内部の追加工は認めない。
- ・2次カバー等のプロテクター取付加工は可能とする。

⑩ エアクリナー

- ・エアクリナー(エレメント/カース/カバー)の変更、改造及び取り外しは認められない。吸気ダクトの変更、改造は認められないが、取り外しのみ認められる。